

茅材の地産地消へ地域の茅刈り技能者、支援者と供給地の拡大に取り組む (1年目)

1. 事業の目的

NPO 神戸カヤネットは、日本の風土文化が育てた多様な建築物の一つである茅葺きを中心とした古民家を地域資産としての維持を支援している。茅葺きを含む古民家住まいが見直されているが、茅葺き屋根の材は、阿蘇(熊本県)、御殿場(静岡県)、千貫石(福島)などから購入し使用しているが、地域の気候気象の積雪などの要因により生産供給量・価格などが変動する。これらの解決に茅材の「地産地消」に取り組んでいるが「茅刈り人材・供給地(茅場)」が不足している。今回の取組みは、「人材と供給地の拡大」である。

2. 活動内容

2.1 茅刈り人材の募集～研修

茅・茅場を知る(地域の足立さんも) 茅の用途を見る(241030)



茅束づくり(241030)



茅刈り研修(250125 岩湧山茅場)



茅ノ輪づくり(240718)



茅刈り研修(250125 岩湧山茅場)



各地の茅を学ぶ(241030 淡河茅倉庫)



岩湧山茅場(241127)視察



3. 成果・課題点

成果は、新規の人材が現在3名、今後の作業で数人の増加を見込んでいる。茅場の拡大は、畔と休耕田など未利用地と圃場整備箇所等をあたり交渉中であるが個人の権利と地域の水利権など課題に直面しており拡大は一筋縄では進まない。新規人材の確保の取り組みの初年度は、丹波関係者周辺の口コミからスタートとしたが、来年度は、もう少し間口を広げて募集の実施から始めるなどより取り組みたい。

4. 今後の展望・成果の活用

茅刈り火入れは、小野茅場が、2月8日、丹波が2月23日、岩湧山の茅刈りが1月19日積雪による中止となったが、1月25日は実施。作業は、冬季の農閑期。茅場は地域事情も交絡しており一歩ずつである。以上